



カラス対策のQ&A

意見交換・学習会やアンケートなどで、よく出された質問にお答えします。

Q カラス対策には、黄色が効果的と聞いたのですが。

A カラスは黄色が苦手なわけではありません。カラスは、紫外線が見えるので、東京都で、紫外線をカットする特殊な顔料が入った黄色いごみ袋を使用したところ、カラスはごみ袋の中身が見えず、カラス対策として効果がありました。このことが、マスコミで大きく取り上げられ、黄色がカラスに効果があると誤解されたようです。紫外線をカットする顔料が入っていなければ、黄色であってもカラスへの効果は変わりません。

ネットの色に関係なく、いかに完全にごみを覆うかがカラス対策のポイントです。本市では、カラス避けとして、黄色のネットを全ステーションに配布していますが、黄色いネットよりも緑色のネットの方が丈夫なこともあり、景観の維持に適していることから、今後は、緑色のネットに統一して配布していこうとしているところです。

Q カラスは、目や鼻が利くのでしょうか。

A カラスの目は、人間の5倍程度良く、紫外線も見えています。鼻は余り利かず、近くのもの匂いしかわかりません。主に視覚でえさを探しています。

Q カラスの嫌がる臭いや嫌いな音を出すような対策グッズがありますが、効果はありますか。

A 確かに、カラスの嫌いな臭いや音はあり、さまざまなグッズが販売されています。

一定の効果は期待できますが、人間と同じで、お腹が減っていたら関係なくごみをあさるようになります。やはり、物理的にごみをカラスからブロックするのが一番効果的な方法です。

Q このガイドブックでは、折りたたみ式のごみ収納枠や固定式のごみ収納ボックスなどが紹介されていますが、購入に当たって補助はありますか。

A 現在のところ、補助金の交付は予定していません。既に自治会等によっては自前で、このような収納枠や収納ボックスを用意されているところもあり、既に設置されているところや、集合住宅などで専用のごみステーションを設置されているところなどとの公平性の問題もあります。

また、ごみステーションの立地条件や形状によっては、ごみ収納枠や固定式のごみ収納ボックスが置けないところもありますので、購入や設置をする際には、事前に生活環境課（TEL 781-5371）にご相談いただきますようお願いいたします。

Q この際、カラスは駆除すべきではないでしょうか。

A 「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」により、捕まえることは禁じられているので、基本的には駆除ができません。

但し、危害を加えられるなどの理由があれば、有害鳥獣として捕獲が許可される場合がありますが、駆除できるのは、捕獲許可を取った専門業者に限られていますし、カラスの個体数を減らすためには、多くのカラスを駆除する必要があり、時間や労力を考えると、カラスからごみをブロックする方がはるかに有効です。

住宅地には、水田等に比べて5倍ものえさが出ていることから、少々駆除をしてもすぐに増えてしまいます。カラスからごみをブロックすれば、おのずと住宅地でのカラスの数も減っていきます。